

令和3年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の場所に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

1 近年、PM2.5などを筆頭に、大気中の微粒子量が増加傾向にあり、健康被害も危惧されている。一方で、海中ではこれまで数十年間にわたって排出・廃棄されつづけたプラスチックが海洋生物に悪影響を及ぼし始めている。2020年現在、プラスチック製品の使用量や環境排出量を減らすための取り組みが各国で進んでいる一方、海洋環境中に残ったプラスチックの量はほとんど減少していない。沖縄周辺のサンゴ礁域でも、海中や底質を調べると直径5mm以下のマイクロプラスチックが見つかる。これらマイクロプラスチックはサンゴ礁の生物にどのような悪影響を及ぼすと考えられるか。具体的な例を1つあげなさい。また、その具体例に対してどのような方法で悪影響を軽減できると考えられるか。合わせて600字程度で述べなさい。

2 あなたは今の自分を「若い」と思うか、それとも「もう若くない」と思うか？以下の3つの質問に対して、合計600字程度であなたの考えを述べなさい。

- 1 あなたは若いと思うか。
- 2 あなたにとって「若さ」とは何だろうか。「老い」とは何だろうか。
- 3 あなたが考える「老いた人」は若い状態に戻ることができるだろうか。これが可能であるか不可能であるかを答え、その理由を説明しなさい。

令和3年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

出題の意図

理学部海洋自然科学科生物系では、「生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人」、「多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人」、「自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人」を求めている。これに関連し、問1では、身近な環境問題に関連した課題解決力と論理的な組み立てに基づいた検証能力を評価する。問2では、主体的に物事を考え、それを論理的に伝えられる能力を評価する。